

社会医療法人二本松会 山形さくら町病院

山形さくら町病院は1922年(大正11年)二本松医院の開業に始まり、今年の春100周年を迎えます。山形市の中心市街地にあり、これまで一貫した精神医療を展開してきました。

病院の特徴としては精神科救急入院料病棟(スーパー救急)、精神科急性期治療病棟という、急性期に特化した二つの病棟を有し地域の精神科救急医療を担っています。また、在宅においても本人の意向に即した自分らしい生活が送れるようデイケア、訪問看護などの支援に力を入れています。

看護部長 鏡 修



TOPICS

- ◆ 令和4年 新年のご挨拶
- ◆ 今年の抱負
- ◆ 職能だより
- ◆ セカンドキャリアに関する意識調査
- ◆ 山形県看護研究学会を終えて 他
- ◆ 支部の活動状況
- ◆ ナースセンターだより

2022(令和4)年度「日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会」

- 期 日: 2022年6月8日(水)・9日(木)
- 場 所: 幕張メッセ(千葉県千葉市)

2022(令和4)年度「山形県看護協会通常総会」

- 期 日: 2022年6月17日(金)
- 場 所: 山形県看護協会会館・看護研修センター



令和3年度
会員数(1月現在)

保健師	365
助産師	372
看護師	7,071
准看護師	141
計	7,949



令和4年 新年のご挨拶

～未来に向かって看護をつなごう～

公益社団法人 山形県看護協会 会長 若月 裕子



新年あけましておめでとうございます。

国内で新型コロナウイルスが確認されてから2年が経過し、新たな変異株の出現と流行の波を繰り返し、感染力が非常に強いオミクロン株による第6波が県内にも襲来しています。ワクチン接種や治療薬の開発も進み、対策が模索されていますが、保健・医療の逼迫が目前に迫ってきています。

県民の健康回復に向け、それぞれの立場で最善を尽くしている看護職の皆さま、長期にわたる日々の努力に心より感謝を申し上げます。そして、その看護職に暖かいエールをお送りいただいている県民の皆さまに対しても心より感謝申し上げます。

コロナ禍であっても、少子高齢化による2025年、その先の2040年問題を見据え、地域包括ケアシステムの中で、看護職が専門性を発揮し役割を果たすことが期待されています。医療と生活の両面の視点を持つ看護職だからこそ、療養中の患者さんや地域で暮らす人々への看護実践ができると思います。あらゆる場、あらゆる状況の中で、必要な支援ができるよう、自己研鑽と、医療と介護の切れ目ない看護職間や多職種との顔の見える連携がとても重要です。県内の看護管理者が繋がっている「地域の看護力強化事業」や「訪問看護総合支援センター」の機能を活用し、さらに一歩進められるよう共に取り組んでまいりましょう。

今年は、寅年 任寅(みずのえ とら)「成長」「始まり」と縁起が良いとも言われています。新しい取り組みも、地に足をつけて進んでいくことにより躍進が期待できると思います。リモート研修や会議など、新たなコミュニケーションツールの使用が効果的な事も実感され、より精度を高めた活用に向け取り組んでまいりたいと思います。

当協会の事業におきましても、皆さまのご支援により順調に進める事ができていることに感謝しております。

皆さまにとって幸せな一年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

どうぞ今年もよろしくお願いいたします。



2022年 今年の抱負

日本海酒田リハビリテーション病院
看護師 伊藤 美幸

回復期リハビリテーション看護師の資格を取得してから6年が経ちました。

患者さんが心身ともに回復し在宅・社会復帰できるようその思いに寄り添い、その人らしさを大切に、安心して穏やかに過ごせる環境作りを目指して、日々関わりを持たせていただいております。

これからも、現状に満足することなく、より「質の高いリハビリテーション看護」を提供できるよう、更なるスキルアップを目指し自己研鑽に努めていきたいと思います。

篠田総合病院
看護師 佐藤 美涼

昨年は、コロナウイルスの影響で県外への旅行等自粛することが多々ありました。私は今年で3年目となりますが、就職する前から友達とたくさん旅行に行くことをモチベーションにし日々頑張ろうと考えていました。しかし、コロナウイルスの影響で旅行の計画は立てられず2年が過ぎてしまいました。そのため今年こそは、温泉旅行に行き日々の疲れを癒し「今日からまた頑張ろう」と思えるようにしたいです。今年こそは以前の生活に戻れるように祈っています。

公立置賜総合病院
看護師 佐々木恵美子

歳を重ねるごとに1年があっという間に過ぎていくと感じます。特に昨年は振り返る暇もないくらいあっという間でした。ただ、改めて感じることは、毎日仕事ができるのは、部署のスタッフや他職種の方々、自分の家族などに支えられているからだと思います。日々「感謝」を忘れず、その気持ちを相手に伝えていくことを大切にして過ごしていきたいと思います。また、患者さんに寄り添う気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと思います。

町立真室川病院
看護師 早坂 直美

私は、今よりもっと“感謝の気持ち”を大切にしたいと思っています。昨年は、私生活や職場で何かある度にたくさんの方に支えられていることを実感しました。今年は娘も進学し、また多くの方と接する機会が増えると思います。一つ、ひとつの出会いを大切にしながら、職場ではスタッフとの連携を図る上で、コミュニケーションはもちろんの事、感謝の気持ちを忘れずに日々自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

訪問看護ステーションやまがた
所長 山川 一枝

私は訪問看護に携わり20年になります。この間、たくさんの方と出会い、助けてもらい、続けていくことができました。訪問看護を取り巻く状況は目まぐるしく変化しており、これからの将来も発展していくと思います。

今年は、新しいことを吸収しながら自分ができることを考え、精一杯頑張っていきたいと思います。日々、周りの方への感謝の気持ちを大切に過ごしていきたいと思っています。

在宅リハビリ看護ステーションつばさ
北町サテライト
看護師 菅井 香織

昨年4月から訪問看護の道に進み、約9ヶ月が経過しました。これまでは急性期病院に勤め、術後管理や急性期治療に携わることが多かったのですが、退院後の在宅生活を支援する側となり、病院とは違う目線で援助していきたいと考えようになり、今回転職する機会を得ることができました。在宅で継続した医療ケアや終末期ケアだけではなく、利用者様やご家族の些細な希望や思いを形にする援助ができる看護師になりたいと日々考えながら関わっています。

昨年は人生の転機となった1年でしたが、自分が目指す看護観を忘れず、訪問看護師にしかできない寄り添い方や力で日々援助していきたいと考えます。

保健師職能だより

保健師職能委員長 後藤 順子

今年度も保健所は新型コロナウイルス感染症の対応に、市町村はコロナワクチンの調整に追われた日々でした。業務に追われる中でも保健師は、徐々に復活してきた保健師活動を大切に取り組んでおります。

このような中で8月に第1回保健師職能研修会として「災害＆新型コロナへの対応」の体験発表と講演及びディスカッション、11月に「保健師の思いをつなげる」保健師交流会を実施しました。体験発表では保健師職能だけでなく多くの看護師職能からの参加もあり、看護職としての感染症対策について多くの学びを得ることができました。また、保健師交流会においては少人数の参加でしたが、保健師の神髄に関わる醍醐味に触れることができました。自衛官から転職した保健師の熱い思いに深く感動しました。

これから来るであろうと予測されるコロナの第6波への対応や、日々揺れるコロナワクチンの3回目の接種など、前例を踏襲することが多い行政保健師にとって、想定外の事業に取り組む必要があります。このような状況の中で、保健師職能委員会を通じて、最新の知識の習得と保健師本来の業務を支え合う仲間づくりに取り組んでいきたいと考えています。

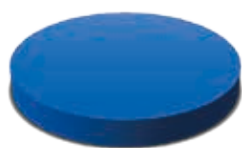
看護師職能Ⅰだより

看護師職能Ⅰ委員長 丸山 邦

石巻赤十字病院 老人看護専門看護師の日向園恵先生を講師に「身体拘束をしない看護をめざすための工夫」というテーマで研修会を開催しました。

● 研修会アンケート結果

研修内容はあなたのニーズに合っていましたか



■ 合っていた ■ 合っていなかった

学習内容はどの程度理解できましたか



■ 理解できた ■ 難しかった
■ 大体理解できた

研修会で学んだことは看護実践の中で活用できそうですか



■ できる ■ 大体できる
■ あまりできない ■ できない

● 研修内容に関する意見・感想（一部抜粋）

- ・ スライドがわかりやすく病棟で共有したいと思います。
- ・ 身体拘束がおこす弊害の大きさを再認識するとともに、明日からの課題が見えました。
- ・ 今の職場で生かすことができる講義内容だったので、早速実践していきたいと思います。
- ・ リスクにとらわれ、抑制や拘束、監視が当たり前になっていました。プラス思考の看護は目からうろこでした。

Zoomを使用しての研修にしたことで、遠隔地からでも多くの皆様に参加していただくことができました。しかし、運営側では受付(入室確認)やブレイクアウトルームの慣れない操作に戸惑い大変でした。グループワークが効果的に行えない場面があり、途中からファシリテーターとして参加したり、案内を加えたり、現場で活かせる研修会となるように一生懸命に対応しました。また、アンケートにQRコードを取り入れました。今回の経験を活かし、このような形式に慣れ、効果的な研修会を企画していきたいと思っています。



必死に Zoom 操作している委員

助産師職能 だより

助産師職能委員 吉田 宏井

助産師職能研修会

開催日：令和3年10月9日(土)

テーマ：ウィメンズヘルスケア研修

「妊娠期から支援を要する妊産婦との関わり方を学び地域連携に活かそう」

講師：山形県立こころの医療センター 医師 米野 宏和 氏

10月9日、「妊娠期から支援を要する妊産婦との関わり方を学び地域連携に活かそう」をテーマに、Zoomを活用した助産師職能研修会を開催しました。この研修は、CLOCMiPレベルⅢ認証申請に必要なウィメンズヘルスケア研修となります。参加人数46名で、助産師だけでなく保健師、看護師の参加もあり、それぞれが問題意識を持ち情報を共有し合い、有意義な研修会となりました。精神科疾患の概要から、産後うつになりやすい妊婦の特徴、観察すべき点、対処方法や関係性作りなど、盛り沢山の内容を学習し理解を深めることができました。

また、オンライン研修は、感染などの心配がなく気軽に受講できる、との意見が多くありました。

今後も助産師実践能力向上を目指すと共に、地域と連携しながら母子のための地域包括ケア推進に力を入れ、活動していきたいと考えています。

看護師職能Ⅱ だより

看護師職能Ⅱ委員長 伊藤 満生

昨今、県内においても新型コロナウイルス感染症により、在宅領域でも施設内職員の感染や施設内クラスターの事例が報告されました。限られた職員の中、心身共に大きな負担を抱えながら何とか乗り切ってこられたことと思います。

今年度、看護師職能委員会Ⅱでは、少しでも身体的な負担が入所者介助者共に軽減できるヒントになればと考え、「安全・安楽な移乗と未来を拓くポジショニング」と題した研修会を企画し、山形大学地域看護学講座在宅看護学教授の松田友美先生を講師にお迎えしました。

昨年度に引き続き新型コロナ感染症対策に十分に留意し10月9日(土)午後より開催することができました。密を避けるため、通常300人入る研修室で机1つに1名とし30名の参加者で実施しました。3つのグループを作り、講義のあとは実際に自分の体で、背抜きを体験し、受講者同士でも実施しました。ポジショニング枕などの有効的な使用を教えて頂いたり、協力動作のない方を想定し、移乗動作で介護される側が、あたかも自ら動いたかのように感じられる支援方法を教えて頂きました。

アンケート結果も概ね満足であり、明日から実際に行ってみたいと嬉しいお言葉も頂きました。さらに学びを深めたいという声が多く寄せられ、次年度も松田先生を迎え、現場に生かせる研修会の企画を検討しております。ぜひ、在宅領域で奮闘されている看護師の皆様の参加をお待ちしております。



「地域に必要な看護職確保推進事業」について

第3弾

「セカンドキャリア」に関する意識調査の調査結果

山形県看護協会では、対象地域を置賜地域とし、日本看護協会の委託事業「地域に必要な看護職確保推進事業」に取り組んでいます！

今回、令和2年度に置賜地域の医療機関等に勤務している看護職の皆様のご協力のもと実施した「セカンドキャリア」に関する意識調査の結果をご報告いたします。

目的

医療機関等に勤務する看護職の「セカンドキャリア」に関する意識調査をし、抽出された課題をナースセンター事業や施策に反映することで、地域のセカンドキャリア対象者の状況把握に基づく支援の実施、退職予定者の就業中からのキャリア支援を目的とする

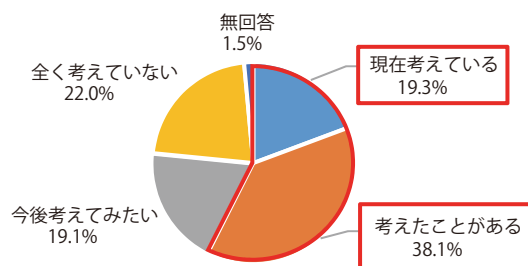
調査期間

2021年2月8日～2月28日

回収状況

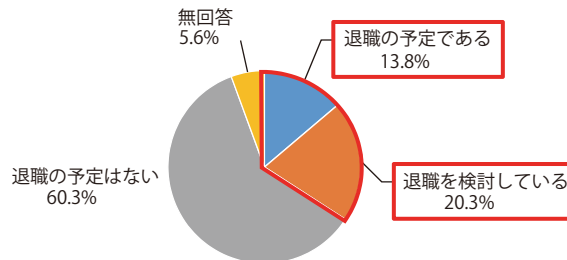
「看護職需要施設実態調査」に回答した置賜地域医療機関（103施設）に就業中の看護職1,020人（回収率49.4%）

▶ 「セカンドキャリア」について



「現在考えている」「考えたことがある」と回答したのが **57.4%**

▶ 3年以内の退職予定について



3年以内に「退職の予定である」「退職を検討している」と回答しているのは **34.1%**

▶ 「セカンドキャリア」として関心のある職場

①病院 ②診療所（無床）③介護保険関連施設・デイサービス

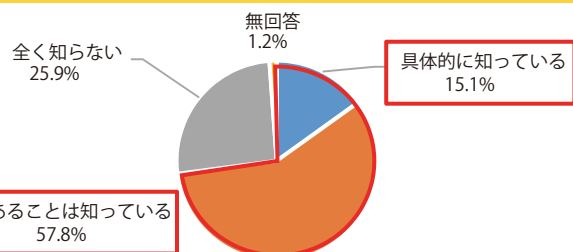
▶ 「セカンドキャリア」のために活用したい紹介機関・方法

①ハローワーク ②ナースセンター（無料職業紹介所）
③職員や知人からの紹介

▶ 退職理由について（回答の多い順）

①定年退職 ②給与・賃金が安い
③自分の適性・能力への不安 ④人間関係
⑤健康上の理由 ⑥看護内容への不満
⑦休みが取れない ⑧他分野への興味
⑨労働時間への不満 ⑩家庭と両立できない

▶ 置賜地域の病床機能分化連携について



「具体的に知っている」「あることは知っている」と回答したのは、 **72.9%**

▶ 自由回答より

- ◎ 看護の楽しさ、素晴らしさを実感できるよう、セカンドキャリアを考える年代まで歩んでいけるような取り組みを、各個人、事業主、看護協会が取り組めれば、看護師の再就職や人材確保が多く進む。
- ◎ 地域医療を守るためには看護師の育成、離職防止、離職後の再就職、退職後の再就職など様々な面でのサポートが必要である。
- ◎ 一時的に看護の仕事から離れた後も安心してセカンドキャリアをスタートできるように勉強会や研修会等あれば参加したい。

今後もナースセンターでは

多様化する地域の医療、介護ニーズに応じた看護職の確保を実現するために、

- ★働きやすい職場づくりへの取り組み支援
- ★柔軟・多様な働き方の求人モデルの提供
- ★就業中から参加できる復職研修やセカンドキャリア支援研修を企画・実施 等 行います！



学会委員会

令和3年度山形県看護研究学会を終えて

委員長 菊地 圭子

11月4日(木)に、山形県看護研究学会「未来につなげる看護実践」を開催し、154名の看護職や看護学生の皆様にご参加いただきました。オンラインによる学会を開催するのは初めてのことで、実行委員一同緊張の途切れない一日でしたが、発表者や参加者の皆様のご理解とご協力を賜り、無事に終えることができました。

今年度は一般演題として、8施設から17演題が集まり、急性期看護や退院支援、看護師の意識、母性看護や臨床実習など、さまざまな看護の場における多様な研究発表から、専門領域を超えた学びを共有することができました。一昨年からのコロナ禍により、研究活動もままならない日々を過ごされた方々も多くいらしたと思いますが、厳しい状況の中でも看護研究の手をやめず、目の前の対象者と向き合い、看護をさらに発展させ未来につなげていこうとする皆様の姿勢が伝わる学会であったと思います。

次年度も学会委員会では皆様の看護研究実践に活かせる研修会や学会の開催を計画しております。多数のご参加をお待ちしております。



いのちの教育推進委員会



研修会を終えてーコロナ禍における若年層を取り巻く性の変化と現状ー

委員長 田中 康子

10月30日に、山形県看護協会、講師の先生、受講者をZoomでつなぎ、いのちの教育推進委員会主催の研修会を行いました。

午前は産婦人科医でやまがた性暴力被害者サポートセンター長の林淑子先生より『こども・若者を取り巻く「性」の変化と現状』についてお話しいただきました。山形県内での被害、相談状況、警察や医療機関などへつなぐサポートがどのように行われているかを知ることができ、またその人の将来のためどう関わっていけるかと考え、心・体・精神的サポート体制の構築と、自分を守ることの大切さを学び、性教育の重要性を再認識できた講義でした。

午後は小・中学校の養護教諭のお二人より事例を通しお話しいただきました。教育現場での葛藤、工夫そして奮闘が伝わる講義を受け、看護職の私たちができることは何か、グループワークで意見交換を行いました。開始される前はZoomでのグループワークは初めてで、うまく意見交換できるかと不安もありましたが、受講者の皆さんから積極的な意見をいただき有意義な話し合いができました。今回の学びを今後の「出前授業」や委員会活動に生かしていきたいと思います。

「まちの保健室」推進委員会



「まちの保健室」で一緒にボランティア活動してみませんか？

委員長 橋本 恵美

学校にある「保健室」のように、こころや身体について気になることや悩みを気軽に相談できる場所、それが「まちの保健室」です。地域住民の健康づくりを広くサポートし、健康意識の向上や健康の保持増進に寄与することを目的に活動しています。

「看護の日」のイベントや健康フェア、支部のイベントでの「まちの保健室」では、体組成・血管年齢・握力測定等、機器を用いた健康チェックや健康相談を行っています。また、ハンドマッサージや転倒予防などを学べるボランティア育成研修会の実施、そして一緒に活動してくださる「まちの保健室」ボランティアの募集等を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の「まちの保健室」活動も中止や開催方法の変更を余儀なくされており、今後実施する際に活動経験が少なく不安だという声がありました。そこで今年度は、新しくメンバーになった方が活動しやすいように、「まちの保健室」の実施方法や、使用する機器の取り扱い方等を1冊のファイルにまとめました。各支部等に配布し、活動時に役立ていただければと考えています。

看護職であればどなたでも「まちの保健室」のボランティアに登録できます。皆さんの知識や技術を是非「まちの保健室」で活かしてみませんか。皆様のご協力をお待ちしています。詳しくは看護協会までお問い合わせ下さい。

山形支部の活動報告

山形支部 教育委員 松浦絵里菜

山形支部では、12月14日(火)午前第1回、午後に第2回研修会を開催いたしました。今年度はコロナウイルス感染症の影響で、初めてのZoomを使用した研修会の開催となりました。

第1回研修会は、山形県看護協会 若月会長より「いま、求められている看護への期待」と題して講話をいただきました。今後の看護の在り方や現状に関して研修会参加者ともコミュニケーションをとりながら話をすすめていただき、大変有意義な時間となりました。

第2回研修会は、新人看護職を対象に「新人時代から今の自分に至るまで」というテーマで、病院・地域で活躍する看護職3名を講師としてお招きし、講話をいただきました。DMATやコロナ等の最前線の現場で活躍をしている方、地域看護の現場で働く方から、自身のステップアップの経験を通して普段思っていることをお聞きし、研修会参加者も良い経験となったことと思います。

感染対策を行いながら、今後も会員のみなさまとともに有意義な支部活動をしていきたいと思いをします。



最北支部の活動報告

最北支部長 小松理恵子

最北支部では、11月5日(金)第1回最北支部研修会を開催しました。

はじめに、山形県看護協会若月会長から「いま、求められている看護への期待」と題し、ご講話をいただきました。山形県看護協会の新型コロナウイルス感染症への対応、めざす将来ビジョンや今後の看護の方向性を理解することができました。次に、山形県立新庄病院緩和ケア認定看護師齊藤優子氏より、「近年の緩和ケアの取り組み～地域と繋がる緩和ケア～」と題して講演をいただきました。緩和ケアの活動や地域との連携など、事例を通してわかりやすい内容で、近年の緩和ケアについて多くの学びを得ることができました。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、最北支部研修会として初めてオンラインでの開催となりました。画面の切り替えなどの際には多少お待たせしてしまいましたが、アンケート結果では、オンライン研修は移動の負担がないため参加しやすいと好評でした。2月の新人研修もオンラインでの開催を予定しています。今回の反省を踏まえ充実した研修会となるように準備していきたいと思いをします。

また、「まちの保健室」は今年度も例年通りの開催はできませんが、現在、3月末まで、新庄駅「ゆめりあ」内に、最北支部「まちの保健室」のコーナーを設置していただき、新型コロナウイルス感染症に関する注意事項などのポスターを展示しています。通学される学生さんなど新庄駅を利用されるみなさんに、まだまだ終息の見えない新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信し周知できるのではないかと期待しています。

withコロナの時代、研修会や「まちの保健室」など今後の支部活動については、多様に対応できるよう検討していきたいと思いをします。



活動状況

庄内支部の活動報告

庄内支部長 高橋みゆき

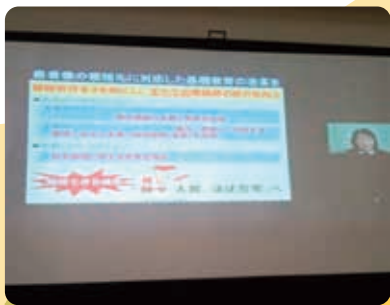
庄内支部では、今年度9月に第1回の研修会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた集合研修をZoomでの研修に変更し12月4日に開催しました。145名の方々より参加申し込みいただきました。

第一部は、山形県看護協会若月会長より「いま、求められている看護への期待」と題してご講演をいただき、これまでの活動、今後看護に求められる将来ビジョンについて知ることができました。

第二部では、「実は身近な発達問題」と題し、山形県立こころの医療センター精神看護専門看護師佐藤氏よりご講演していただきました。「事例紹介がありとても分かりやすかった」「今後に生かしていきたい」といった感想が多くとても好評でした。2月には新人看護職交流会を予定しております。

まちの保健室の活動については、年3回地域の行事へ参加し、健康チェックや相談を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止や規模縮小となり、参加できませんでした。

次年度は、行事へ参加できることを期待するとともに、地域に庄内支部の看護活動を知ってもらうために行動していきたいと考えています。



置賜支部の活動報告

置賜支部長 片倉恵美子

日々、新型コロナウイルスの新規感染者数に一喜一憂しながら、今年こそいろんな取り組みができるのだろうかという計画を立ててまいりました。しかし、上半期は落ち着かない状況で一番に安全面を考慮し、まちの保健室の活動は中止としポスター掲示のみとなりました。また、研修企画では2回、昨年できなかった新人看護職交流会を含めオンラインを活用して開催することができました。第1回目は、10月13日に山形県看護協会の若月会長の「いま、求められている看護への期待」、公立置賜総合病院リハビリ部技師長 井上 健先生の「リハビリから看護師に伝えたいこと～安全な介助方法と自己メンテナンス～」をご講演いただきました。

2回目の11月11日の新人交流会では、公立置賜総合病院救急認定看護師 橋本 翼先生に「私の看護師としてのキャリア形成」をテーマにお話を伺いました。グループワークでは自分の病院のよいところや、就職して半年たち悩んだこと、感動したことなど画面を通じて話をすることができました。世界中が一日でも早く、コロナウイルスが撲滅され、日常に戻ってほしいと願いながら、今後も企画、開催方法を検討し、会員の皆様や地域の皆様に貢献できるよう活動していきたいと思います。



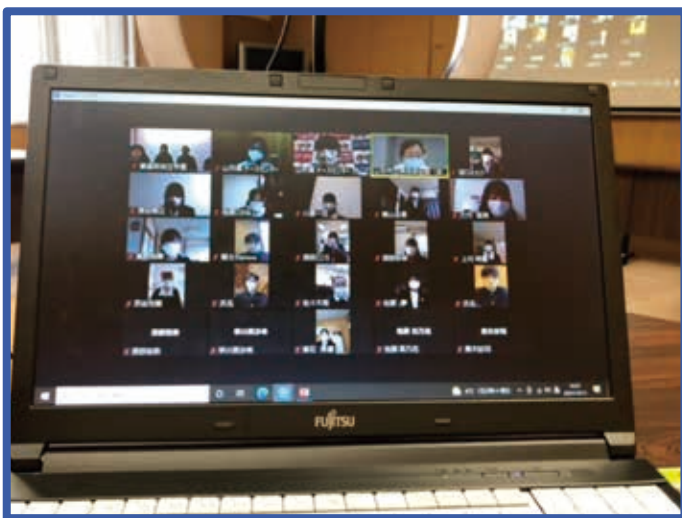
山形県ナースセンターだより

中学生・高校生対象

「看護への道セミナー(Web開催)」終了しました！

11/13(土)、12/11(土)の全4回、「看護への道セミナー(Web開催)」がおこなわれ、県内の中学生・高校生を中心に129名の申し込みがありました。昨年に引き続き、Zoom(Web会議システム)を利用し、オンライン開催としました。

当日は、県内医療機関で勤務している保健師・助産師・看護師に職業講話をしていただき、看護学生時代のエピソードや、現在の職場での仕事内容など看護職の魅力を発信していただき有意義な時間を過ごすことができました。参加者は、仕事内容や資格取得について詳しく聞いてみたい！と活発に質問されていました。一人でも多くの方が医療や看護に興味を持っていいただければ幸いです。



～参加者アンケートより～

- ★ これからのモチベーションにつながった。
- ★ 初めてのZoomで緊張したが、参加して良かった。
- ★ 講義だけでなく、質問コーナーもあって良かった。
- ★ 看護師の道に向けてもっと頑張っていきたい。
- ★ 体験談がお聞きでき、とても貴重な時間だった。
- ★ 実際に仕事をしている人の話をお聞きできるセミナーがあったらまた参加したいと思った。



「Uターン等相談事業」 オンラインで開催

山形県ナースセンターでは、遠隔地在住の看護職員のニーズに対応し、Uターン就業者等に関する相談・指導を行うとともに、県内外の看護師等学校養成所関係機関への相談窓口設置のPRのため、県外看護師等学校養成所へ訪問し、就職担当者と面談しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、岩手県・秋田県・福島県・宮城県・茨城県の計5校の担当者とオンラインで情報交換を行ないました。新型コロナウイルス感染症拡大による学生の抱える悩みや、近年の就職活動状況などを聞くことができ、大変有意義な時間となりました。

私達は、山形県の魅力をたくさん発信していきます！



「看護の仕事相談会」 情報コーナー

県内のハローワーク等を会場に「看護の仕事相談会」を行っています。就職相談・進路相談・求人の相談等、看護職の皆さまの相談に応じています。今春から職業をお考えのみなさん、ぜひ、ご相談ください。(この相談会は、雇用保険受給者の求職活動に該当します。)

	2月	3月
ハローワーク やまがた	4日(金)	4日(金)
マザーズジョブ サポート山形	22日(火)	22日(火)
ハローワーク 寒河江	2日(水)	2日(水)
ハローワーク 村山	21日(月)	14日(月)
ハローワーク 新庄	15日(火)	15日(火)
鶴岡市 勤労者会館	9日(水)	9日(水)
ハローワーク 酒田	10日(木)	10日(木)
マザーズジョブ サポート庄内	3日(木)	3日(木)
ハローワーク 長井	17日(木)	17日(木)
ハローワーク 米沢	24日(木)	25日(金)

令和3年度潜在看護師等復職研修 病院等施設実地研修

受講者募集中!!

復職をお考えの方、ブランクがある方、復職への第一歩を踏み出してみませんか？病院での実地研修を機会に、多くの看護職が看護の現場で活躍しています。ぜひ、ご相談ください。

【申込期間】

令和4年2月18日(金)まで

【研修日数】

3日間まで(18時間)

【対象者】

- ・再就業を希望している者、今後3ヶ月以内に退職等を予定している者で、技術習得を必要とする者
- ・1年以内に再就業できる者

※ 受け入れ病院一覧、詳細については、ホームページをご覧ください。

※ 研修日数や研修時間などご相談ください。

12/25(土)・26(日)
オンライン開催

山形であなたの力を輝かせよう！

看護学生・県内就業希望者対象

看護師等職場説明会について

12月25日(土)・26日(日)の2日間、県内看護学生及び県外看護学校に在籍する県出身者に対して、県内病院の魅力を幅広くPRする場として、「看護師等職場説明会」をオンラインで開催しました。各病院の担当者より、看護内容・院内教育・採用条件等の説明があり、看護職を目指す104人が真剣な眼差しで参加しました。病院の紹介では、わかりやすく、趣向をこらした内容で、入職した自分の姿がイメージできるような紹介でした。県内の病院がたくさんの魅力を発信し、就職活動前に病院の特色を聞くことができ、就職先を考える良い機会となったのではないのでしょうか。山形県内の魅力ある職場で、活躍する皆さんの姿を楽しみにしています。



届出制度
「とどけるん」

ライフスタイルに合った働き方を
一緒に考え、支援します！

届出制度とは、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出ていただく制度です。ナースセンターが離職中の看護職とつながりを持ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行います。



とどけるんの
QRコードは
こちら

〈届出方法〉

- ① パソコンやスマートフォンからの登録
- ② ナースセンターによる代理登録（届出登録用紙は、山形県看護協会のホームページからダウンロードいただくか、山形県ナースセンターまでご連絡ください）
- ③ 施設による代行届出登録

山形県ナースセンター

LINE公式アカウントと
お友だちになりませんか!!

すでに「お友だち登録」していただいた方、いらっしゃいますか？山形県ナースセンターでは、「LINE公式アカウント」を開設しています。イベント・救護、健診などの求人情報提供を中心に「看護の仕事相談会」の開催情報や各病院等で実施する復職支援研修情報など、看護に関する情報提供を行なっています。
※お友だち登録状況について、ナースセンターでは致しかねますので、求人情報提供希望の方、看護に関する情報提供をご希望の方は、ぜひ、ご登録をお願いします。

LINE公式アカウント
QRコード

LINE公式アカウント
ID



@569jdrqd



山形県ナースセンター
とお友だちになって、
たくさんの情報をゲッ
トしましょう！

山形県ナースセンター（山形県看護協会内） e-mail:yamagata@nurse-center.net ☎023-646-8878

2022(令和4)年度 看護協会入会受付中です!

2022(令和4)年度新規・再入会ご希望の方は、「入会申込書/会員情報変更届」(濃紺色)用紙をお送りいたしますので下記へご連絡ください。

また、退会ご希望の方は、退会届を3月24日(木)まで下記へ郵送ください。当協会ホームページからダウンロード可能です。新年度4月以降は会費の返金ができませんのでご了承ください。

継続会員の方の会員情報変更は、会員専用Webページ「キャリナース」が便利です。
ユーザー登録しご利用ください。

会員専用ページ
キャリナース

【連絡先】 公益社団法人山形県看護協会 総務課 〒990-2473 山形市松栄 1-5-45 TEL023-685-8033

理事会等の開催報告**令和3年12月20日(月) 第7回理事会**

審議事項	1. 令和3年度山形県看護協会上半期事業報告	〈承認〉
	2. 令和3年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告	〈承認〉
	3. 令和4年度諮問審議事項(案)について	〈承認〉
	4. 令和4年度山形県看護協会重点事業(案)について	〈承認〉
	5. 令和4年度山形県看護協会教育計画(案)について	〈承認〉
	6. 令和3年度山形県看護協会第2回職能・常任・特別・認定・推薦委員会及び支部長・副支部長との合同委員会(案)について	〈承認〉
	7. 令和4年度山形県看護協会職能・常任・特別・認定委員会委員の選出について	〈承認〉
	8. 令和4年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について	〈承認〉
	9. 令和4年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について	〈承認〉

令和3年11月～12月の山形県看護協会事業実施状況

令和3年11月 2日(火) 第1回最上地域看護管理者ネットワーク会議研修会	令和3年11月 25日(木) 「福島県外避難者の心のケア事業」における「まちの保健室」
令和3年11月 4日(木) 令和3年度山形県看護研究学会(Web開催)	令和3年11月 26日(金) 第2回東南村山地域看護管理者会研修会
令和3年11月 11日(水) 山形県助産師活用推進事業協議会(Web開催)	令和3年11月 30日(火) 西北村山地域等看護力連携会
令和3年11月 13日(土) 看護への道セミナー(Web開催)	令和3年11月 30日(火) 第2回置賜地域看護管理者会
令和3年11月 16日(火) 訪問看護師養成講習会実践報告会	令和3年12月 11日(土) 看護への道セミナー(Web開催)
令和3年11月 17日(水) 認定看護管理者教育課程サードレベル看護管理実践計画発表会	令和3年12月 16日(木) 「置賜の地域医療を住民とともに考える」セミナー
令和3年11月 18日(木) 地域に必要な看護職確保推進事業ワーキンググループ	令和3年12月 25日(土)・26日(日) オンライン看護師等職場説明会(Web開催)

令和3年度 会館建設積立金納入状況

(令和3年12月31日現在)

納入人数	金額	満額納入者
3,338名	16,477,000円	193名

皆様の多大なご協力ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

お詫びと訂正

前号「山形いぶきvol.155」において誤りがありました。
訂正し深くお詫び申し上げます。

◆「山形いぶきvol.155」(令和3年11月発行)
2ページ「山形県健康福祉部との業務推進懇談会をWEB開催して」

副会長氏名 (誤) 佐藤久枝 (正) 室矢美奈子

**時短
レシピ**カンタン!
シリーズ
8**レンジで簡単! 旨辛! 納豆チゲスープ****作り方**

1. 耐熱容器にAを入れラップをせずに電子レンジで3分加熱する
 2. よく混ぜBの味噌をしっかりと溶かして、ごま油をかける
- *お好みでチーズや豆腐などトッピングしてみてください

材 料 (2人分)

A 納豆	1パック	B 味噌	小さじ
納豆付属のたれ		ごま油	小さじ1
白菜キムチ	80g		
白だし	小さじ1		
水	130ml		

**編集
後記**

あけましておめでとうございます。今年度もより充実した内容のいぶきをお届けできますよう頑張ります。今年こそは旅行に行ける年になりますように。

